



罪を犯した人の立ち直りを 地域で支えるために

～地域の生態系の視点から～

【主催】 一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
【共催】 更生保護法人 日本更生保護協会

■ 本シンポジウムの目的

本シンポジウムは、休眠預金活用事業「安全・安心な地域社会づくり支援事業」(資金分配団体:日本更生保護協会)について、JANPIAが委託した調査研究チーム(代表:津富宏[静岡県立大学])が、NPO法人TFG(福岡県:若年女性へのアウトリーチ)、更生保護法人滋賀県更生保護事業協会(滋賀県:保護司会による息の長い支援基盤整備)、NPO法人ジャパンマック(福岡県:犯罪を犯した依存症者の支援拠点づくり)という3つの実行団体を対象に行った調査・研究の成果を報告し、その成果を、地域の再犯防止の取組みに生かすことと目的とするものです。

◇調査研究の特徴◇

「地域の生態系(エコシステム)」という観点から、再犯防止の取組みに着目したことです。調査対象となった実行団体のどの地域においても、休眠預金活用事業が進行するにつれ、本人の立ち直り、そして実行団体の活動を支える「地域の生態系」が発展し、その結果として、罪を犯した人を支える地域が形成されています。

◇シンポジウムの趣旨◇

今後の再犯防止推進の計画と実施の中に、「地域の生態系(エコシステム)」という観点を取り入れることの「価値」について、実行団体、資金分配団体、そして、地域再犯防止推進計画を担う自治体の方々や、地域において罪を犯した人の立ち直り支援に関わってこられた方々をお招きして議論を行い、地域で再犯防止を進めていくための知見の共有が促進されることを目指します。

3/23 [木]

●時間 13:00-16:00

●開催方法 ハイブリッド開催
(会場 & オンライン)

参加無料

会場 定員100名
オンライン 定員300名

■ プログラム

【第一部】

13:00-13:10 開催挨拶
13:10-13:30 事業紹介
13:30-14:00 調査研究報告

～休憩 10分～

【第二部】

14:10-14:50 パネル・ディスカッション
14:50-15:20 フロア・ディスカッション
15:20-15:30 全体共有
15:30-15:50 質疑応答
15:50-16:00 終了挨拶

※プログラム内容・時間は予告なく変更になる場合がございます。

■ 開催概要

【開催形式】

会場参加とオンライン参加によるハイブリッド開催

《会場参加》※開始15分前から受付開始

会場:日比谷国際ビル8階 コンファレンス スクエア
8D会議室(東京都千代田区内幸町2-2-3)
<https://hibikoku.tokyo/access/>

《オンライン参加》※開始5分前から入室可能
開催日前日までにZoomURLをお送りします。

【主な対象者】

- ・再犯防止推進計画を実施している関係者
- ・立ち直り支援に関心のある方

【お申込み】

以下のお申込フォームよりお願いします。

<https://forms.office.com/r/bRTEyRkZr2>

申込締切:2023年3月20日(月)15時まで



【後援】 更生保護法人 全国保護司連盟
更生保護法人 全国更生保護法人連盟

調査研究事業概要やパネルディスカッション
については裏面をご覧ください

■ 調査研究対象事業概要

資金分配団体 「安全・安心な地域社会づくり支援事業」 更生保護法人日本更生保護協会

本事業は、2019年度草の根支援事業（全国）として採択されました。各実行団体（全10団体）は、犯罪や非行少年及びその家族、生きづらさを抱える人々等を対象に支援を行い、また支援対象者が社会の一員として包摂される環境を整備していくことで、犯罪加害者や被害者が再び生まれない社会を目指し、地域社会における更生を支える基盤の充実に資するための活動を実施しています。調査研究は資金分配団体の事業と実行団体3団体を対象に実施しています。

実行団体① 「息の長い支援基盤整備事業」 更生保護法人 滋賀県更生保護事業協会

生きづらさを抱えた人たちに、地域が一体となった息の長い支援を行っていくための基盤整備を目指す。

実行団体② 「犯罪を犯した依存症者の支援拠点づくり」 特定非営利活動法人ジャパンマック

犯罪を犯した依存症者に対する支援環境を改善し、関係団体が連携し支援機関につなげられる状態を目指す。

実行団体③ 「パープルエイド・ブルークロス運動」 特定非営利活動法人TFG

若年女性を対象としたアウトリーチ活動と相談活動、自立支援等を行うとともに、青少年にフォーカスした（再）非行防止運動を拡充して実施する。

■ 調査研究チームの紹介（敬称略）

津富 宏（調査研究チーム代表）

静岡県立大学
教授

NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡
顧問



竹中 祐二

北陸学院大学
准教授



松川 杏寧

防災科学技術研究所
特別研究員



中村 秀郷

西南学院大学
講師
元保護観察官



大澤 望

一般社団法人
インパクト・マネジメント・ラボ
日本評価学会
理事



その他、外部より再犯防止推進計画を策定・実施されている自治体の方をパネリストとしてお招きする予定です。

■ シンポジウムに参加する事業実施者の紹介（敬称略）

藤井 郁子

資金分配団体

更生保護法人 日本更生保護協会
事業担当プログラム・オフィサー

新庄 博志

実行団体①

更生保護法人 滋賀県更生保護事業協会
事務局長

岡田 昌之

実行団体②

特定非営利活動法人ジャパンマック
総括施設長

末永 直美

実行団体②

特定非営利活動法人ジャパンマック
エール施設長

大西 良

実行団体③

筑紫女学園大学 准教授
一般社団法人ソーシャルワーク・オフィス福岡 代表理事

■ 休眠預金等活用制度について

2009年1月1日以降の取引から10年以上取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度で、2019年度から開始されました。2022年12月9日現在、選定されたNPO等は839団体（累計）、助成規模は約197.1億円（累計）となっています。